

埼玉労働局 発表  
令和5年8月 22 日(火)

【照会先】

埼玉労働局労働基準部健康安全課  
課 長 繁野 北斗  
地方労働衛生専門官 武田 静夫  
(電話番号)048-600-6206

報道関係者 各位

埼玉労働局と大塚製薬株式会社大宮支店とが  
健康づくりに関する包括連携協定を締結  
～29 日（火）に締結式を開催します～

埼玉労働局（局長 久知良 俊二）と大塚製薬株式会社大宮支店（支店長 田中 健太郎）とが、働く世代の健康づくり推進に向けた包括連携に関する協定を締結します。

本協定は、熱中症対策など6つの項目に連携して取り組み、働く世代の健康づくり推進を図ることを目的として締結するものです。

今後、本協定に基づき、双方が持つ資源を有効に活用しつつ、健康づくりに関する情報発信、セミナーの開催等に取り組むことにより、働く世代の健康づくり推進に取り組んでまいります。

なお、協定の締結に当たり、次のとおり締結式を開催します。

1 日時

令和5年8月29日（火）11：40頃～（記者懇談会終了後より開催）

2 場所

埼玉労働局 15階大会議室

（さいたま市中央区新都心1-1番地2 ランド・アクシス・タワー15階）

3 出席者

埼玉労働局

局長 久知良 俊二

大塚製薬株式会社大宮支店

支店長 田中 健太郎

4 連携項目（協定書は別紙のとおり。）

- (1) 働く世代の健康保持増進に関すること
- (2) 健康経営<sup>※</sup>の普及・促進に関すること
- (3) 熱中症対策に関すること
- (4) 女性特有の健康課題への対応に関すること
- (5) 食生活の改善の促進に関すること
- (6) その他、前条の目的の達成に資すること

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

別紙 働く世代の健康づくり推進に向けた包括連携に関する協定書（案）

別添 働く世代の健康づくり推進に向けた包括連携に関する協定の概要

別紙1 熱中症の応急処置マニュアル

別紙2 熱中症対策アンバサダー講座 2023

（お願い）締結式に御出席される場合、28日（月）12：00までに、上記労働局の照会先あて御連絡いただきますようお願いいたします。また、御希望があれば締結式の模様を収めた写真を提供することも可能です。

## 働く世代の健康づくり推進に向けた包括連携に関する協定書

大塚製薬株式会社（大宮支店取扱い；以下「甲」という。）と埼玉労働局（以下「乙」という。）は、相互の連携・協力に関して、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

## （目的）

第1条 本協定は、甲及び乙が、相互の密接な連携・協力を図り、働く世代の健康づくりを推進することを目的とする。

## （連携・協力事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力を図るものとする。

- (1) 働く世代の健康保持増進に関する事
- (2) 健康経営<sup>※</sup>の普及・促進に関する事
- (3) 熱中症対策に関する事
- (4) 女性特有の健康課題への対応に関する事
- (5) 食生活の改善の促進に関する事
- (6) その他、前条の目的の達成に資する事

※ 「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

2 甲及び乙は、前項各号に定める事項を効果的に推進するため、必要に応じ協議を行うものとし、具体的な連携事業については、甲乙協議の上その内容を別途定めるものとする。

## （協定の見直し）

第3条 甲又は乙のいずれかが、本協定の内容の変更又は解除を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更又は解除を行うものとする。

## （秘密保持）

第4条 甲及び乙は、本協定の履行に際し知り得た相手方の秘密情報を、相手方の承諾を得ずに第三者に開示し、又は本協定の履行以外の目的に利用してはならない。

2 甲及び乙は、本協定が理由の如何を問わず終了した後においても、前項に規定する義務を負う。

(期間)

第5条 本協定の有効期間は、本協定締結の日から1年間とする。  
ただし、本協定の有効期間満了の1か月前までに、甲又は乙から書面による申し出がなされないときは、その有効期間を1年間延長するものとし、以後も同様とする。

(その他)

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定の内容に疑義が生じた場合は、甲及び乙はその都度誠意を持って協議し、決定する。

以上、本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ署名の上、各1通を保有するものとする。

令和5年8月29日

甲 埼玉県上尾市瓦葺929番地1  
大塚製薬株式会社  
ニュートラシューティカルズ事業部 大宮支店

支店長

乙 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2  
ランド・アクシス・タワー16階  
埼玉労働局

局長

# 働く世代の健康づくり推進に向けた包括連携協定の概要

## 働く世代の健康づくり推進に向けた各者のこれまでの取組

### 大塚製薬



- 熱中症対策、女性特有の健康課題解決、健康経営、食生活等の健康づくりに関する情報の発信
- 事業者に対するセミナーの実施 等

### 埼玉労働局



- 労働安全衛生法令及び各種指針※に基づく健康保持増進対策の実施等に関する事業場への指導
- 労働者の健康保持増進に関する説明会等の実施
- 健康経営埼玉推進協議会を通じた健康経営の推進

## 包括連携協定締結後の取組予定

### 連携項目



- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1 働く世代の健康保持増進に関すること | 2 健康経営の普及・促進に関すること    |
| 3 熱中症対策に関すること       | 4 女性特有の健康課題への対応に関すること |
| 5 食生活の改善の促進に関すること   | 6 その他、前条の目的の達成に資すること  |

### 取組内容（予定）

- 連携項目に関する情報発信（連名でのリーフレット（参考例：別紙1）の作成・各者のネットワークを通じた配布等）
- 連携項目に関する啓発・教育（各者が実施するセミナー、説明会等への協力（参考例：別紙2）） 等

## 熱中症

## の 応急処置マニュアル

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら…。  
落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の処置が肝心です。

## 熱中症を疑ったときには何をすべきか

チェック1 熱中症を疑う症状  
ありますか？

(めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗  
・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・  
意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温)

はい

チェック2 呼びかけに応え  
ますか？

いいえ

救急車を呼ぶ

はい

涼しい場所へ避難し、  
服をゆるめ体を冷やすチェック3 水分を自力で  
摂取できますか？

いいえ

救急車を待つ間

涼しい場所へ避難し、  
服をゆるめ体を冷やす

はい

水分・塩分を補給する

チェック4 症状がよくなり  
ましたか？

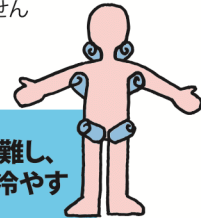
いいえ

すみやかに  
医療機関へ

はい

そのまま安静にして  
十分に休息をとり、  
回復したら帰宅しましょう

救急車が到着するまでの間に  
応急処置を始めましょう。呼び  
かけへの反応が悪い場合には  
無理に水を飲ませてはいけま  
せん



氷のう等があれば、首、腋の  
下、太腿のつけ根を集中的に  
冷やしましょう\*



本人が倒れたときの状況を知っている人が  
付き添って、発症時の状態を伝えましょう



大量に汗をかいている  
場合は、塩分が入  
ったスポーツドリンクや  
経口補水液、食塩水  
がよいでしょう

\*スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。

出典:環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」




## POINT

## どこを冷やすのか？

文中やイラストでも示しているように、体表近くに太い静脈がある場所を冷やすのが最も効果的です。なぜならそこは大量の血液がゆっくり体内に戻っていく場所だからです。具体的には、頸部の両側、腋の下、足の付け根の前面(鼠径部)等です。そこに保冷剤や氷枕(なければ自販機で買った冷えたペットボトルやかち割り氷)をタオルでくるんで当て、皮膚を通して静脈血を冷やし、結果として体内を冷やすことができます。冷やした水分を摂らせることは、体内から体を冷やすとともに水分補給にもなり一石二鳥です。また、濡れタオルを体にあて、扇風機やうちわ等で風を当て、水を蒸発させて体を冷やす方法もあります。

出典:環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」を改変

# 熱中症の症状

分類	症状	臨床症状からの分類	重症度	対処法(参考)
重症度Ⅰ度 (軽症)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識ははっきりしている</li> <li>手足がしびれる</li> <li>めまい・たちくらみがある</li> <li>筋肉のこむら返りがある(痛い)</li> </ul> 	熱失神 熱けいれん	小	現場で対処し経過観察 涼しい場所へ避難して服をゆるめ体を冷やし、水分・塩分を補給しましょう。誰かがついて見守り、良くならなければ、病院へ。
重症度Ⅱ度 (中等症)	<ul style="list-style-type: none"> <li>吐き気がする・吐く</li> <li>頭がガンガンする(頭痛)</li> <li>体がだるい(倦怠感)</li> <li>意識が何となくおかしい</li> </ul> 	熱疲労		医療機関を受診 速やかに医療機関を受診しましょう。
重症度Ⅲ度 (重症)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識がない</li> <li>呼びかけに対し返事がおかしい</li> <li>体がひきつる(けいれん)</li> <li>まっすぐ歩けない・走れない</li> <li>体が熱い</li> </ul> 	熱射病	大	救急車要請 救急車を呼び、到着までの間、積極的に冷却しましょう。

出典：日本救急医学会熱中症診療ガイドライン2015を参考に大塚製薬で改変

## 熱中症予防のポイント

### 暑さを避けましょう

暑い日は、涼しい服装や日傘・帽子の使用を心がけることが大切です。少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動するようにしましょう。



### 室内環境を整えましょう

高齢者の熱中症の特徴として、室内で多く発生していることがあげられます。部屋の温度が上がらないように工夫するとともに、こまめに温度をチェックするようにしましょう。



### こまめに水分補給

汗をかき体温調節をするためにもカラダの水分量の維持はかせません。のどが渇いていなくても、こまめな水分補給を心がけましょう。



### 日頃から体調管理

普段から「栄養バランスの良い食事」「適度な運動」「十分な睡眠」で規則正しい生活を意識し、体調管理に努めましょう。



### POINT

カラダの水分量を維持するためには、体液に近い成分のイオン飲料がおすすめです。ナトリウムなどのイオン(電解質)を適切な濃度で含んでいるのでカラダに負担をかけず体内に素早く吸収されます。さらに、尿として排出されにくく、水と比べても体内保持率が高いイオン飲料は、長時間カラダを潤し続ける特性があり、水分補給に適しています。

#### 飲料別体内キープ力比較

飲んだ後、2時間座り続けた間、飲んだ量のうちカラダに残った割合。



n=12

出典:Doi T, et al : Aviat Space Environ Med(2004)を改変

# 熱中症対策アンバサダー講座

## 2023

### 地域における熱中症対策に貢献 / 「熱中症対策アンバサダー講座」を実施します

熱中症の発生を防ぐためには、個々で気を付けていくことはもちろんですが、正しい知識をもって熱中症対策をおこなうことができるよう、多くの方々に呼びかけていくことも必要です。当講座では、熱中症対策の啓発・普及活動をおこなう際に必要な専門的な知識を学んでいただくことができ、修了された方は「熱中症対策アンバサダー」として認定されます。

近年、地球温暖化による気温上昇や、生活様式の変化による新たな熱中症リスクの発生により、ますます熱中症対策の重要性が高まっています。

熱中症対策を伝える“確かな人材”を増やしていきたいという自治体・学校・企業の皆さま、是非この機会に、本講座をご活用いただければ幸いです。

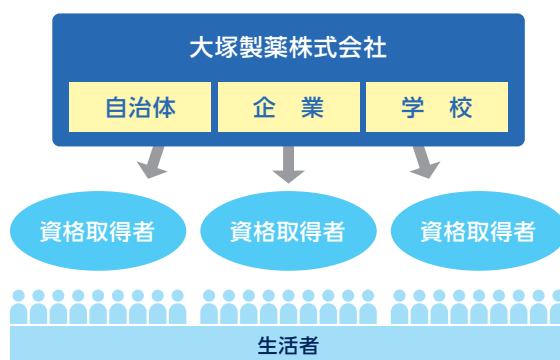
このような方におすすめです

自治体・企業・学校などの  
熱中症対策担当者

健康サポートに携わる  
流通関係者や医療従事者

各種スポーツに  
携わる方

熱中症対策アンバサダーの活動イメージ



アンバサダーの活躍フィールドの一例

健康セミナー・地域イベントなど



運動会・スポーツ競技会など



子どもや高齢者への声かけなど





# 「熱中症対策アンバサダー講座」実施概要

## ■ 受講資格

どなたでも受講いただけます。

## ■ 受講料

無料 [修了後の更新は不要(無期限)]

## ■ 開講期間

## ■ 講義内容

講義1 熱中症について知る	講義2 熱中症対策	トピックス	確認テスト
60分		15分程度	30分

## ■ 提供されるツール



アンバサダー  
カード  
(修了証)



専用スライド  
(PPT形式)

監修: 中京大学 松本孝朗教授

- 熱中症対策アンバサダーの資格を取得するためには、講座を受講し、確認テストを受ける必要があります。
- 受講のためにはメールアドレスが必須となります。
- インターネットにつながる端末をご用意ください。
- 受講の際にかかる通信費は個人負担となります。

 Otsuka 大塚製薬株式会社

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー